

アルコール検知器義務化、車両での電話を使った中間点呼時のアルコールチェックに最適！
燃料電池センサー採用、「音でわかる」低価格アルコール検知器[PT-1000]新発売

株式会社トライプロ(代表：高木宏昌、本社：神奈川県川崎市)はバス・トラック等の交通事業者におけるアルコール検知器義務化の必須要件である「車両での電話を使った中間点呼時のアルコールチェック」に最適なアルコール検知器[PT-1000]を発売いたします。

このアルコール検知器[PT-1000]は高精度「燃料電池式センサー」を採用しながらも、本当に必要とされている機能のみに絞りこみ、驚異的な低価格を実現しました。

また、アルコール反応があった時だけでなく、正しく測定が完了し、アルコール反応がなかった時にもアルコール反応時と「異なった音」が鳴ることで車両での電話を使った中間点呼時のアルコールチェックを容易かつ確実にします。

[背景]

平成 23 年 5 月 1 日より、交通事業者(バス・タクシー・トラック)の点呼におけるアルコール検知器使用が義務化されました。しかしながらアルコール検知器の精度や動作用件に関しては何も決まりやガイドラインがなく、市場には様々な性能のアルコール検知器が氾濫しており、アルコール以外の成分にも反応する商品がアルコール検知器として販売されているのが現状です。

特に対面点呼時は運行管理者の「目」があるのでそれほど問題ありませんが、対面点呼ができない場合の電話点呼でのアルコールチェックは高精度のアルコール検知器の使用が必須と考えられます。

またアルコールチェック結果は自己申告や検知器のデータを後付けで確認するような方法が行われていますが、確認の正確さやその場でのチェック結果の把握には問題があると言わざるをえません。

アルコール検知器[TP-1000]は海外警察等で使用されている燃料電池センサーの高精度と、「音」でアルコール反応の有無が電話越しに確認できますので、車両での電話を使った中間点呼時のアルコールチェックに最適です。

[特徴]

- ・高精度、燃料電池センサー搭載(同等センサーが海外 16 カ国で使用※)
- ・アルコール検知有無により異なる測定完了音
- ・メンテナンス(校正)することにより、長期的使用が可能
- ・軽量(41g)、コンパクト(98mm×18mm×28mm)
- ・ワンボタンの簡単操作、切り忘れても安心のオート電源オフ
- ・燃料電池センサー使用ながらも圧倒的な低価格
- ・メンテナンス(校正)も低価格

[主な仕様]

項目	内容
測定方式	燃料電池式(電気化学式)センサー
測定誤差	±0.02mg/l (0.40mg/l 時)
表示範囲	0.05mg/l～1.00mg/l
使用(保存)温度範囲	0℃～+45℃(-20℃～+70℃)
吹込(暖気)時間	約 3 秒(約 5 秒)
反応時間	10 秒以内(0.00mg/l の場合 即時)
電源	単四電池×2 本(別売)
サイズ/重さ	98mm×18mm×28mm / 41g
校正期限	1000 測定 もしくは 12か月毎を推奨
内容物	本体・マウスピース(1ヶ)・説明書
カラー	白 もしくは 黒

[価格]

PT-1000 希望小売価格 13,800 円(消費税別) (本体・マウスピース 1ヶ・取扱説明書)

※単 4 電池 2 本は別売りです

備考：校正サービス 希望小売価格 3,500 円(消費税別)

マウスピース 希望小売価格 980 円(消費税別/10ヶ入り)

[発売時期]

平成 23 年 10 月 1 日



※本製品は日本国内仕様です。海外警察使用の製品とは一部仕様が異なります。

本件に関する問い合わせ先

〒213-0013 神奈川県川崎市高津区末長 676 番地

株式会社 トライプロ 担当：高木

TEL:044-866-2511 / FAX: 050-3488-7454

E-mail:info@trypro.co.jp / <http://www.trypro.co.jp>

[写真]

